

石附喜三男教授著作目録

著書・論文（書評・紹介などを含む・年代順）

- 1 「瀬棚遠征日記」
一九五八（昭和三十三年）年
部 札幌 五月
- 2 「北海道神恵内洞窟出土の土器」（共著 坪田嘉子）
一九五九（昭和三十四年）年
部 札幌 五月
- 3 「奥尻島青苗貝塚出土の内耳を有する土器について」
『黒耀石』No.9 一〇二頁 北海道青年考古学協議会連絡誌 同会 札幌 十月
一九六一（昭和三十六年）年
- 4 「北海道長沼町幌内の擦文時代の遺跡について」
『同志社考古』1 一八〇二二頁 同志社大学考古学研究會 京都 一月
一九六二（昭和三十七年）年
- 5 「北海道」（特集「後期古墳の研究」の二項目）
『古代学研究』三十号 七七〇七九頁 古代学研究会 京都 三月
- 6 「擦文式文化関係文献目録」（文献目録）
『釧路の古代文化』第五集 一七〇二二頁 釧路考古学研究会 釧路 十一月
一九六四（昭和三十九年）年
- 7 「擦文式文化の研究」
同志社大学院文学研究科修士課程（現 博士課程前期）
一九六四年度提出 修士論文（補論「北海道における土師器の諸問題」） 京都 三月（同志社大学図書館蔵）〔四〇〇字詰 一一〇枚〕
- 8 「曾野寿彦著『発掘——遺跡をして語らしめる——』（書評）
『古代文化』第十二卷六号 一一七頁 古代学協会 京都 六月
- 9 「北海道における「機織技術」採用の時期」
『北海道青年人類科学研究会誌』第五号 一〇四頁 同会 札幌 八月
一九六五（昭和四十一年）年
- 10 「東北地方北部における末期古墳の様相」
『古代文化』第十四卷二号 二二〇三三頁 古代学協会 京都 二月
- 11 「北海道における土師器の諸問題——とくに擦文式土器との関連における一考察——」
『先史学研究』第五号 三九〇五二頁 同志社大学先史学研究会 京都 五月
- 12 「酒詰先生を偲ぶ」（追悼文）
『古代文化』第十五卷三号（特集「学史、酒詰仲男教授を偲ぶ」） 六四頁 古代学協会 京都 九月

- 一九六六(昭和四十一)年
- 13 「北海道南部における八世紀前後の墳墓とその系統——本州文化の波及をめぐる一考察——」
『古代学』第十二巻四号 二四四〜二五五頁 古代学協会
京都 二月
- 14 「同志社大学ボルネオ(Borneo)島学術調査略報——北部ボルネオにおける稲作の形態——」(共著 江畑武、鈴木幸三)
『文化史学』20 六一〜七三頁(十写真図版四頁) 京都
三月
- 15 「酒詰先生とボルネオ」(追悼文)
『同志社考古』6(酒詰先生追悼号)五〜六頁 同志社大
学考古学研究会 京都 五月
- 16 「北海道の須恵器——その出土地名表と獲のたき目に関する一、二の問題——」
『北海道青年人類科学研究会誌』8 二〜七頁 同会 札幌 十二月
- 一九六七(昭和四十二年)
- 17 「ポリネシア・西サモアの考古学調査」(孔版)
『いりえ』No.6 一入江貝塚発掘調査団日報——一頁 入
江貝塚第二次発掘調査団 八月
- 18 「古代史ニュース 2」ハ札幌市北栄遺跡の調査V」(紹介)
『古代文化』第十九巻二号 五一頁 古代学協会 京都
八月
- 19 『札幌市平岸坊主山遺跡緊急調査略報』
札幌市教育委員会 札幌 三月
- 20 「アイヌ文化における古代日本の要素伝播の時期に関する一私見」
『古代文化』第十九巻三号 九一〜九九頁 古代学協会
- 京都 九月
- 21 「古代史ニュース 1」ハ入江貝塚第二次発掘調査V」(紹介)
『古代文化』第十九巻五号 八五頁 古代学協会 京都
十一月
- 一九六八(昭和四十三年)
- 22 「擦文式土器の初現的形態に関する研究」
『札幌大学紀要』1(開学記念)一〜四五頁 札幌大学教
養部 札幌 三月
- 23 『深川市東納内遺跡緊急調査略報』
深川市教育委員会 深川 三月
- 24 「A Preliminary Report on the Ploasa-a-lalo Excavation」
『Newsletter of New Zealand Archaeological Association』
Vol. 1, No. 1 五〇〜五六頁 同会
New Zealand 三月
- 25 「北海道芦別市出土の毛抜形刀」(共著 野村崇)
『古代文化』第二十巻十号 二二六〜二二八頁 古代学協
会 京都 十月
- 26 『日本地名大事典』第七巻 北海道(渡辺光他編) 共著
朝倉書店 東京 十二月
- 一九六九(昭和四十四)年
- 27 「擦文式土器とオホーツク式土器の融合接触関係」
『北海道考古学』第五輯 六七〜八〇頁 北海道考古学会
札幌 三月
- 28 『南紀串本、笠島遺跡』(共著 安井良三、伊藤久嗣)
串本町役場 串本 八月
- 一九七〇(昭和四十五年)年
- 29 「北海道における土師器の諸問題——とくに擦文式土器との関連に

- おける「考察」(自著論文要目)
- 『日本考古学年報』18 五〇～五一頁 日本考古学協会
東京 四月
- 30 「北海道の原史文化」(「古墳文化特説」の一項目)
*『新版考古学講座』第五卷(原始文化) 三六四～三七四頁
雄山閣出版 東京 六月
- 31 「北海道文化財保存対策協議会のあゆみ」(文化財保護)
『北海道文化財保存対策協議会連絡誌』2 一～二頁 同
会 札幌 七月
- 32 「北海道における文化財保護組織結成運動の歩みと展望」(文化財保護)
『文化財を守るために』二 一六～一七頁 文化財保存全
国協議会 東京 十一月
- 一九七二(昭和四十六)年
33 「稲作の源流」
『評点』十三号 九八～一〇八頁 大東文化大学出版会
東京 二月
- 34 「蝸牛考とアイヌ文化論」
『北海道の文化』二十一号 一四～一九頁 北海道文化財
保存協会 札幌 三月
- 35 「遺跡保存協会設立経過報告」(文化財保護)
『北海道遺跡保存協会ニュース』1 二頁 同会 札幌
五月
- 36 「天塩川口基線遺跡の保存活動」(文化財保護)
同右 四頁
- 37 「網走、釧路、根室管内における最近の緊急発掘および遺跡の破
壊状況」(文化財保護)
- 『北海道遺跡保存協会ニュース』2 三～五頁 同会 札
幌 七月
- 38 「天塩川口基線遺跡の保存活動―その2―」(文化財保護)
同右 六頁
- 39 「圃場整備による最近の遺跡破壊―羽幌町チライベツ遺跡の例
(文化財保護)」
同右 六頁
- 40 「北海道北部日本海沿岸における竪穴住居址群の実態調査とその
集落史的研究」
『北海道科学研究費、自由課題による研究報告書』十三集
一二頁 札幌 十一月
- 41 「道教委の昭和四十七年度文教施策に対する重点要望、意見の提
出」(文化財保護)
『北海道遺跡保存協会ニュース』3、4 同会 札幌 十
一月
- 42 「北海道における埋蔵文化財破壊の現状とその対策」(文化財保
護)
*『埋蔵文化財白書』(日本考古学協会編) 四二～四五頁
学生社 東京 十二月
- 43 「要望書提出に当って感じたこと―農業振興地域の整備に関する
法律について―」
『北海道遺跡保存協会ニュース』5 四～七頁 同会 札
幌 二月
- 一九七二(昭和四十七)年
44 *『チライベツ遺跡』(編著)
羽幌町教育委員会 札幌 三月
- 45 *『伊茶仁B地点―第一次発掘調査報告―』(編著)

- 46 標津町教育委員会 標津町 三月
「考古学者と北海道」
『北方ジャーナル』第一巻第一号(創刊号)一五二～一五九頁 ㈱北方ジャーナル社 札幌 四月
- 47 「北海道札幌郡中の沢遺跡」(紹介)
『日本考古学年報』20(昭和四十二年版)八〇～八一頁
日本考古学協会 東京 五月
- 48 「北海道における末期古墳と問題点」
『古代学研究』六十四号 一～一〇頁 古代学研究会
京都 八月
- 49 「江別式土器の終末年代」(発表要旨)
『日本考古学協会昭和四十七年度大会 研究発表要旨』
八～九頁 日本考古学協会 東京 十一月
- 50 一九七三(昭和四十八)年
「北見枝幸における遺跡破壊の現状」(文化財保護)
『北海道遺跡保存協会ニュース』7、8 八～九頁 同会
札幌 三月
- 51 「“江別式土器”の終末年代と所謂“北大式土器(一)”」
『札幌大学紀要』5 三三～四四頁 札幌大学 札幌 三
月
- 52 「チライベツ遺跡」(紹介)
『日本考古学年報』24(一九七一年版)一〇頁 日本考古
学協会 東京 三月
- 53 「伊茶仁B遺跡」(紹介)
同右 一一～一二頁
- 54 「擦文式文化における墳墓の様相」
『古代文化』第二十五卷二、三合併号 九四～一〇三頁
- 55 古代学協会 京都 三月
*『伊茶仁遺跡(一九七二～一九七三)』(編著)
北地文化研究会 根室 十月
- 56 「考古学的文化圏とアイヌ民族圏」
『第27回 日本人類学会・日本民族学会連合大会抄録』
三〇頁 同会 札幌 十一月
- 57 一九七四(昭和四十九)年
「伊茶仁B遺跡」(紹介)
『日本考古学年報』25(一九七二年版)一一頁 日本考古
学協会 東京 三月
- 58 「旧禪竜寺遺跡」(紹介)
同右 一一頁
- 59 *『北海道千歳市ウサクマイ遺跡―B地点発掘報告書―』(編著)
千歳市教育委員会 千歳 三月
- 60 『Archaeological Excavation of Site SU-FO-1 at Folas-a-lala』
『Archaeology in Western Samoa』Vol. 2 New Zealand
- 61 *『北方の古代文化』エミシ・エゾ・アイヌの文化―擦文式文化を
中心として― 七～三九頁(山田秀三、新野直吉編、共著 浅
井亨、大林太良、佐々木昌雄)
毎日新聞社 東京 七月
- 62 *『札幌市文化財調査報告書』VII(共著 羽賀憲二)
札幌市教育委員会 札幌 八月
- 63 「湯ノ川遺跡出土の土器」(『晩期Iの土師式土器 北海道』の一
項目)
*『土師式土器集成』本編4(杉原荘介、大塚初重編) 二
八～二九頁 東京 九月
- 64 「擦文式文化における農耕作物」

- 『古代学研究』七十四号 三六〇三三八頁 古代学研究会
京都 十二月
- 一九七五(昭和五十)年
- 65 *『北奥の古代文化』(平山久夫編、共著 桜井清彦、氏家和典他)
学生社 東京 一月
- 66 「蝦夷について」(発表要旨)
『北奥古代文化』第七号 六七頁 北奥古代文化研究会
東京 四月
- 67 「ウサクマイB遺跡」(紹介)
『日本考古学年報』26(一九七三年版)一四頁 日本考古学協会 東京 六月
- 68 *『札幌市文化財調査報告書』Ⅻ(共著 上野秀一)
札幌市教育委員会 札幌 八月
- 69 「擦文式文化の成立と展開」
『日本考古学協会 昭和五十年大会研究発表要旨』一八頁 同会 東京 十月
- 一九七六(昭和五十一)年
- 70 「鈴谷式土器の南下と江別式土器」
『北海道考古学』第十二輯 二九〇三五頁 北海道考古学会 札幌 三月
- 71 「西サモアにおける考古学の一つの体験」
『えとのす』第五号 七一〇七六頁 新日本教育図書株式会社 東京 四月
- 72 「鈴谷式土器の南下と江別式土器」(発表要旨)
『日本考古学協会 昭和五十一年度総会研究発表要旨』九頁 同会 東京 五月
- 73 「北海道の土師器と遺構」(発表要旨)
- 『昭和五十一年度北奥古代文化研究大会開催要項』五頁
北奥古代文化研究会 東京 七月
- 74 「擦文式文化の終末年代に関する諸問題」
*『江上波夫教授古稀記念論文集』考古・美術篇 二九〇五〇頁 山川出版社 東京 十二月
- 一九七七(昭和五十二)年
- 75 「北海道のチャシ」
*『考古資料の見方へ遺跡篇Ⅴ』地方史マニユアル5(甘粕健編)二八三〇二九一頁 柏書房 東京 三月
- 76 *『ウサクマイ遺跡―N地点発掘報告書―』(編著)
千歳市教育委員会 札幌 三月
- 77 「擦文式文化と墓制」(発表要旨)
『日本考古学協会 昭和五十二年大会研究発表要旨』一〇〇一頁 同会 東京 四月
- 78 「続縄文式土器と擦文式土器」
*『考古資料の見方へ遺物篇Ⅴ』地方史マニユアル6(甘粕健編)一一七〇一三七頁 柏書房 東京 六月
- 79 「オホーツク文化と擦文文化・アイヌ文化との関係」(討論)
『シンポジウム オホーツク文化の諸問題 発表要旨』二二〇三四頁 北海道大学 札幌 八月
- 80 「阿倍比羅夫遠征の北限」
『歴史と人物』昭和五十二年十一月号 一五二〇一五七頁 中央公論社 東京 十一月
- 81 「モースと北海道」(学史)
『考古学研究』第二十四卷三・四号 九四〇九六頁 考古学研究会 岡山 十二月
- 一九七八(昭和五十三)年

- 82 「阿倍比羅夫と「しりへし」と」(歴史探訪)
『月刊セイケイ』第三卷第二号 七八〜七九頁 北方政経社 札幌 二月
- 83 「紋別市栄遺跡の発掘調査」(共著 堅田直)
『もうぺっと(紋別の文化)』第九号 三九〜四八頁 紋別市教育委員会 紋別郷土史研究会 紋別 三月
「北海道」(紹介)
『考古学ジャーナル』No.一四九(一九七七年の考古学界の動向) 五二〜五八頁 ニュー・サイエンス社 東京 六月
- 84 「江別坊主山遺跡出土の鈴谷式土器(文化財シリーズ 52)」
『広報 えべつ』四六六号 五頁 江別市 江別 八月
一九七九(昭和五十四)年
- 85 『世界考古学事典』(江上波夫、角田文衛、重松和男他編、共著 森浩一、白石太一郎、大井晴男、田代克巳他)
平凡社 東京 二月 *執筆は十九項目、詳細は後述
- 86 「擦文式土器の文様帯」(発表要旨)
『日本考古学協会 第四十五回総会研究発表要旨』八頁
同会 東京 五月
- 87 「北海道における古墳の年代」
『考古学ジャーナル』No.一六四(特別号) 四七〜五二頁
ニュー・サイエンス社 東京 八月
「考古学から見た肅慎」
『蝦夷』(日本古代文化の探究、大林太良編) 二二三〜二四七頁 社会思想社 東京 九月
- 88 「北海道における土器文化の終焉と附随する諸問題」
『地方史研究』一六二号 一〜一三頁 地方史研究会
東京 十二月
- 89 一九八〇(昭和五十五年)年
「最近の札幌の考古学の話題―財団法人埋蔵文化財センターの発足―」(研究動向)
- 90 『北海道考古学会だより』第七号(一九七九年における北海道考古学の動き) 三頁 同会 札幌 三月
「博物館学芸員課程開設二十五周年記念 ボルネオ学術調査隊回顧座談会」(座談会 酒詰静枝、岡満男、江畑武他)
『同志社大学博物館年報』十一号 二二〜五六頁 同大博物館学芸員課程 京都 三月
- 91 「元江別・対雁の遺跡群」
『ふるさとの自然』No.12(キノコと遺跡特集) 七〜一〇頁
北方自然保護研究所 江別 九月
- 92 「ボルネオ北部の稲倉」
『同志社大学博物館年報』十二号同大博物館学芸員課程
京都 十二月
- 93 一九八一(昭和五十六)年
「ボルネオ島、学術調査報告」(共著 上野直蔵他)
『同志社大学博物館学芸員課程』一九八一年 同課程 京都 二月
- 94 「米村先生を偲ぶ」(追悼文)
『北海道考古学』第十七輯 四頁 北海道考古学会 札幌 三月
- 95 「第二次文化財白書―第二章 各地における保存と破壊の

- 記録 1.各県の現状―二―三頁 日本考古学協会編 学生社 五月
- 99 『日本文化の創世紀』(新潮古代美術館シリーズ第十二巻、共著 林屋辰三郎他) 一一―一三頁
新潮社 東京 七月
- 100 『北海道大百科事典』(湊正雄、和田謹吾、更科源蔵他編、共著 吉崎昌一、野村崇、斎藤傑、武田孟他)
北海道新聞社 札幌 八月 *執筆は三項目、詳細は後述
- 101 「北海道の古墳群」
*探訪 日本の古墳―東日本編(大塚初重編) 四七九―四八五頁 有斐閣 東京 十一月
- 一九八二(昭和五十七)年
- 102 『北海道における農耕の起源(予報)―文部省科学研究費による―』(梅原達治編、共著 山田悟郎、岡田淳子他)
札幌 三月
- 103 *シンポジウム オホーツク文化の諸問題(大井晴男編、共著 ワシリエフスキー、天野哲也、菊地徹夫他)
学生社 東京 十二月
- 一九八三(昭和五十八)年
- 104 「エゾ地の鉄」
*稲と鉄(日本民俗文化大系 第三巻、森浩一編) 三〇―三二頁 小学館 東京 二月
- 105 「擦文式文化における東北地方」
*角田文衛博士古稀記念 古代学叢論 一四七―一五八頁 古代学協会 京都 四月
- 106 「北海道」(地域別論考の一項目)
*三世紀の日本列島(三世紀の考古学 下巻、森浩一編)
- 107 「擦文式文化の生業」(発表要旨)
『北海道考古学会だより』第十七号(北海道考古学会 第二十一回総会研究発表要旨) 四頁 同会 札幌 七月
- 108 『日本考古学小辞典』(江坂輝弥、芹沢長介、坂詰秀一編、共著 重松和男、高杉博章、金子浩昌、渡辺誠他)
ニュー・サイエンス社 東京 九月 *執筆は一項目、詳細は後述
- 一九八四(昭和五十九)年
- 109 「館長対談(9) 近くて遠い国、台湾と北海道」(対談 高倉新一郎)
『とどまつ』(北海道開拓記念館友の会会報) 九―二―六頁 同会 札幌 二月
- 110 *神恵内観音洞窟 一九八四(共編、共著 石川直章)
神恵内村教育委員会 神恵内 八月
- 111 「擦文式土器の編年的研究」
*北海道の研究Ⅱ(考古篇2、石附編、共著 菊地徹夫 加藤邦雄、平川善祥、松下亘他) 一二七―一五八頁 清文堂 大阪 八月
- 112 「日本考古学における北海道の位置」
『土車』(平安博物館だより) 第三十二号 四頁 古代学協会 京都 十月
- 一九八五(昭和六十)年
- 113 「カナダのカタクリ」(植物)
『ふるさとの自然』No.29(新年号) 三―四頁 北方自然保護研究所 江別 一月
- 114 「北海道の古代遺跡」

その他、1. 新聞署名記事他

- 115 *『日本古代史の謎、総解説』二二三～二三九頁 自由国民社 東京 四月
「エゾエンレイソウ雑感」(植物)
『ふるさとの自然』No.31(第39回愛鳥週間特集号) 一二～一三頁 江別 六月
- 116 「弥生時代の北方文化」
『考古学ジャーナル』No.二四八 五～一〇頁 ニュー・サイエンス社 東京 六月
*『鉄文化の始まり―アイヌの祖先の生活―』北海道考古学教室 5(編著) 一光社 東京 七月
- 118 *『楽しい考古学入門』北海道考古学教室 7(野村崇編、共著) 森田知忠、斎藤傑、愛下淳) 一光社 東京 七月
- 119 「札幌学院大学人文学部編『北海道の民族と文化』(書評)」
『札幌学院評論』第四号 一二二～一二三頁 札幌学院大学 江別 十月
一九八六(昭和六十一)年
- 120 「北海道考古学からみた蝦夷(エミシ)」
『古代文化』第三十八卷二号 二五～三六頁 古代学協会 京都 二月 *絶筆*
- 121 *『アイヌ文化の源流』北方考古学叢書二(編著) みやま書房 札幌 十月
*『』は単行本
- 1 一九七六(昭和五十一)年十一月二十日(夕刊)
「最近の行政発掘の問題点」 北海道新聞
- 2 一九七七(昭和五十二)年七月一日(夕刊)
「石狩八幡町遺跡と日本書紀」 北海道新聞
- 3 一九七九(昭和五十四)年九月八日(夕刊)
「オホーツク文化の担い手を探る」 北海道新聞
- 4 一九八〇(昭和五十五)年五月十七日(夕刊)
「札幌マレーシア会―日本文化と深い関係、民話などで理解深める―」 北海道新聞
- 5 一九八二(昭和五十七)年十一月十七日(夕刊)
「入り口のある竪穴住居跡」 北海道新聞
- 6 一九八三(昭和五十八)年二月二十二日
「家族との留学体験記」 藻嶺(札幌大学広報)第二十四号
2. 序論・挨拶など
1 「編集後記」
『古代文化』第十九卷五号(北海道特輯号) 古代学協会 京都 一九六七(昭和四十二)年十一月
「編集後記」
『北海道考古学』第七輯 北海道考古学会 札幌 一九七〇(昭和四十五)年三月
3 「序言」
*『札幌市文化財調査報告書』I 札幌市教育委員会 札幌 一九七三(昭和四十八)年三月
4 「序言」
*『札幌市文化財調査報告書』III 札幌市教育委員会 札幌 一九七四(昭和四十九)年六月

5 「IV まとめ」

『江別市文化財調査報告書』Ⅻ 江別市教育委員会
江別 一九八一（昭和五十六）年三月

6 「退任のご挨拶」

『北海道考古学会だより』第十一号 北海道考古学会
札幌 一九（昭和）年七月

7 「はしがき」

『北海道の研究』Ⅱ（考古篇2） 清文堂
大阪 一九八四（昭和五十九）年七月

* 辞典の執筆項目

1 *『世界考古学事典』十九項目

「有珠善光寺貝塚」「忍路三笠山」「音江向陽」「オホー
ツク式土器」「オホーツク文化」「オンコロマナイ」「神
恵内洞穴」「キウス」「御殿山」「酒詰仲男」「手宮洞穴」
「豊富」「日の浜」「フゴッペ洞穴」「船泊砂丘」「北海
道式古墳」「モヨロ貝塚」「湧別」「蕨手刀」

2 *『北海道大百科事典』三項目

「擦文時代」「北海道式古墳」「蕨手刀」

3 *『日本考古学小辞典』十九項目

「アイヌ」「ウサクマイ土墳墓群遺跡」「恵山式土器」
「蝦夷」「恵庭市の古墳群」「エリモ遺跡」「大狩部遺跡」
「大曲」「音江環状列石」「オホーツク文化」「神居古潭
遺跡」「魚形石器」「御殿山遺跡」「サイベ沢遺跡」「擦
文文化」「統縄文土器」「手宮洞穴」「フゴッペ洞穴」
「モヨロ貝塚」

（羽賀憲二、田部淳、石川直章編）